

観梅祈願祭

【日時】 令和6年2月24日(土) 11時～

受付：10時30分～

【会場】 結城神社 津市藤方2341

059-228-4806

【参加費】 1,000円

祈願申し込み、祈願祭参加
霊場会と梅園めぐり



『開創11年記念法会』

令和5年12月2日(土) 11時から初馬
寺(津市栄町3-210)で開催



開創5年の記録

2017年12月2日(平成29年)

一志町波瀬・安楽寺へ布袋尊霊場が変わりました。



薬師如来 坐像



■今起きていること

安楽寺 和田正道

「伊勢の津七福神」が開創されて5
年布袋尊を榊原地蔵寺から一志町
波瀬・安楽寺に移すことになりました。それか
ら7年が経ちました。

2024年のお正月から能登へお手伝いに行っ
ています。皆様の日常が早く戻りますことを祈
念いたします。



安楽寺



醍醐天皇延喜十九年（919年）藤原仲平卿に詔して六十余州ごとに安楽寺を創建した。本尊は薬師如来で慈覚大師作である。永生5年（1508年）兵火により全焼。享保十三年（1728年）落雷により殿堂全焼。天保五年（1834年）楼門以外すべて全焼。現在の本堂庫裏は明治元年（1868年）再建した。

安楽寺の烏枢沙摩明王（うすさまみょうおう）は昔より下半身の仏様として知られ、仏さまと一緒に、変わった御尊体が祀られています。泌尿器や足腰の病氣平癒のほか、子宝祈願や安産祈願に訪れる人もいらっしゃいます。またご予約があれば、特別祈禱も受け付けております。



【見どころ紹介】

“銅鐘”

江戸中期、享保十一年（1726年）安芸郡中山村安保丹後藤原恒治の代表作。

“お寺の佇まい”

安楽寺は、隙間のない立派な石垣のうえに建立されており荘厳な佇まいである、眼下に波瀬街道が通り昭和初頭まで大いに繁栄した。

【年間行事】

初祈祷会・新春福引き会	1月1日0時
盂蘭盆大施食会	8月15日
盆おどり大会	8月17日19時～
薬師如来法要	毎月8日13時～
水子供養法要	毎月14日13時～

伊勢の津七福神 友の会のご案内

■伊勢の津七福神 友の会特典 (会員証をお見せください) 2024.2

- ・うなぎのつたや 059-228-3005 本体価格(消費税含む)から100円引き
- ・榊原館 059-252-0206 日帰り入浴 お茶進呈
- ・谷石材 0595-21-2148 花筒(本体価格)の5%引き
- ・はま作 059-228-3088 和菓子サービス
- ・ホテル三徳 059-223-3109 宿泊客にコーヒー1杯サービス
- ・お菓子處とらや本家 059-228-4802 1000円(本体価格)以上お買い上げで5%引き
- ・マキノ回生堂 059-228-5331 1000円(本体価格)以上お買い上げでティッシュひと箱
- ・長谷川印刷 059-228-4465 名刺100枚(本体価格) 一割引き
- ・飯処 しるべ(大門) 059-261-4116 食事の後、ソフトドリンク1杯サービス
- ・(株)日塗建 059-271-6066 塗装料(消費税含む)から10%引き 相談可

2012年12月2日 「伊勢の津七福神」が、津市に開創して11年が経ちました。開創以来巡拝の方は、7600名(1月末)を越え、多くの方に訪れていただきました。また、現在150名の友の会会員の皆様のご協力・ご支援を頂き、この先も歩みを進めて参りたいと思っています。

津市内の由緒ある七寺社を巡拝していただく中で、『歴史ある津の町を多くの方々に知ってほしい』という願いを込めて”伊勢の津七福神”は開創されました。是非、この活動に御賛同くださり、巡拝・感謝の心を育て、町おこしの夢を見てみませんか。

会員の方には、友の会だより・下記お店の特典もごございます。

会費：1,000円/年間

金融機関：郵便局

郵便振替口座：00820-8-123136

口座名義：伊勢の津七福神友の会



《伊勢の津七福神友の会事務局》

電話：059-225-8558

編集後記：ご意見、原稿お寄せ下さい。

年明けに地震があり、まだまだ苦難の道半ば。

七福神様に安寧を願うばかりです。

池上 kanon@nifty.com

《伊勢の津七福神友の会事務局》

〒514-0033 津市丸之内 27-16 高山神社内

電話：059-225-8558